



学校だより 7月号



自分事として命を守る行動ができるように

校長 三橋 淳子

6月1日の学校再開から1か月、7月1日からは給食も再開されます。

学校再開第1期初日の朝会では、自分と周りの大切な人の命を守れるよう行動すること、第2期初日の朝会では人に言われてだけではなく、自分で考えて行動することについて話をしました。休業中の生活から学校に戻ってきた子ども達は、マスクを着用すること、手を洗うこと、相手との距離を保つことについて、可能な限り気をつけて生活してきています。再開当初は緊張が強く、硬い表情のお子さんも少なくありませんでしたが、日を重ねてくる中で、全体としては自然な姿で過ごす様子が見られるようになっていきます。日々の校内の様子を見ても、職員の話からも、子ども達はよくがんばっていると感じています。

6月29日の朝会では、このことに併せて横断歩道の渡り方についても話をしました。命を守るためのもう一つの約束です。都田西小学校の学区は交通安全の視点から見た際の危険箇所が相当数あり、スクールゾーン防犯対策協議会の窓口であるPTA本部、校外委員会の皆様には、改善に向けて関係機関への発信を重ねていただいています。

そして、本校学区内では、保護者、学援隊の皆様の他、藪根～消防小屋前等に立っていただいている佐江戸お散歩隊の皆様、月曜日に東門に立っていただいている防犯指導員の東海林さん、地域自治会の皆様、都筑警察署、マンション建設関係警備員の方等たくさんの方が子ども達の安全のために、暑い日、寒い日、雨の日を問わず、旗振り、見守り等を続けてくださっています。ありがとうございます。

皆様のご支援をいただきながら、この地域で子どもたちが安全に気を付けながら歩行できるように、学校でも指導を重ねてきており、挨拶をすることや、声をかければ手をあげて横断歩道を渡ることが少しずつできるようになってきています。ただ、それが日常の行動にはなかなか結びつかず、子ども達の自分事につなげることの難しさを感じています。

そのことを考えながら正門で登校してくる子ども達に声をかけていたある朝、嬉しい光景を目にしました。一人で登校してきた1年生のお子さんが、横断歩道すらない交差点を、手をあげて渡っているのです。おそらく、入学にあたって登校する練習をする中で、そのお子さんの保護者の方が教えられたのでしょう。

横断歩道の渡り方については、今後も、教職員が具体的な指導内容・方法を共有する機会をもち、交通安全に関する指導を重ねて参ります。保護者の皆様にも、お子さんと歩行する際、「横断歩道や交差点では、右左右を見て、手をあげてわたる」ことを確認すること、旗振り等の場面で「横断歩道や交差点では、右左右を見て、手をあげてわたる」よう声掛けをすることを、お願いしたいと思います。

今年度は7月末まで授業を行い、8月も例年より早く授業が開始されます。詳しくは次のページをご確認ください。例年と異なる日程、対応となりますが、教職員一同、丁寧に教育活動を進めて参ります。引き続き、保護者、地域の皆様のご理解とご協力をいただければ幸いです。なお、何かご心配、ご不明な点がありましたら、いつでもご連絡ください。今後とも、よろしくお願いたします。

【工事のお知らせ】7月から8月にかけて、災害時下水直結式仮設トイレの下水道管整備工事が予定されています。子ども達の安全第一に進めていただくようお願いしていますが、お気づきの点がありましたらご連絡ください。